

「清流の国ぎふ森林・環境税」に関するアンケート調査結果

恵みの森づくり推進課

1 調査目的

「清流の国ぎふ森林・環境税」(以下「県森林・環境税」という。)に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の森林・環境施策の基礎資料とさせていただくために、ご意見を伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター 634人

調査方法: インターネット

調査期間: 令和3年7月12日～7月30日

回収結果: 429人(回収率: 67.7%)

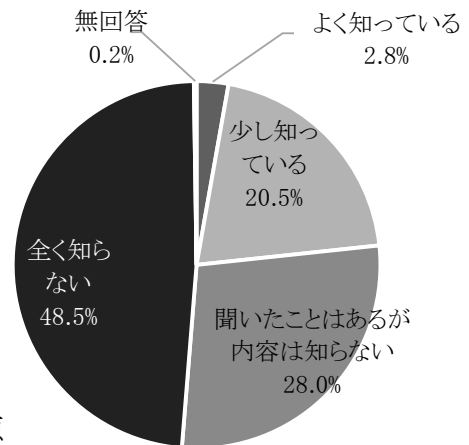
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

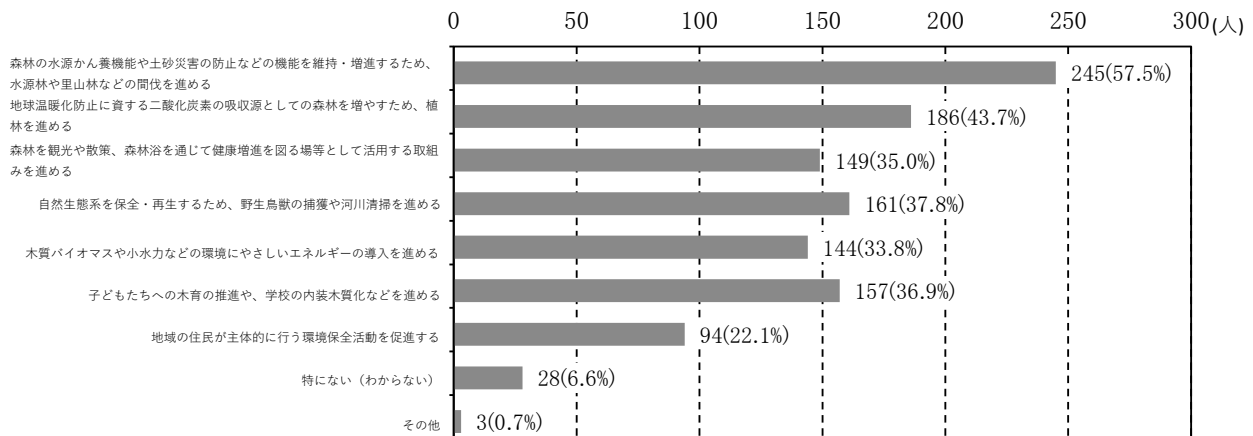
○ 県森林・環境税の認知度について

「県森林・環境税」の認知度は、51.3%（「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」の合計）となっている。一方、「全く知らない」は48.5%となっている。



○ 県森林・環境税の使いみちについて

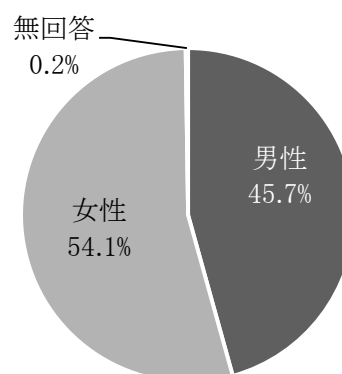
「県森林・環境税を活用した取組み」について、引き続き最も県で取り組んでほしいものは「森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める」が57.5%、次いで「地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める」が43.7%となっている。



4 回答者属性

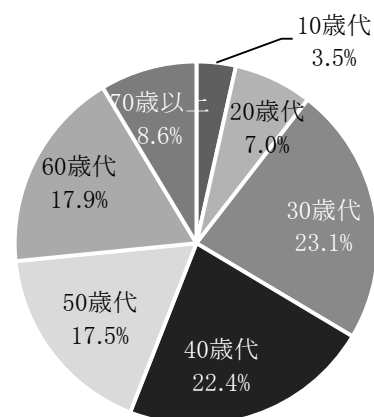
(1) 性別

	人数	割合
男性	196	45.7%
女性	232	54.1%
無回答	1	0.2%
計	429	100.0%



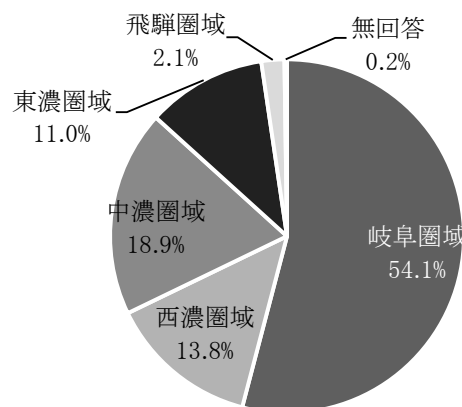
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	15	3.5%
20歳代	30	7.0%
30歳代	99	23.1%
40歳代	96	22.4%
50歳代	75	17.5%
60歳代	77	17.9%
70歳以上	37	8.6%
計	429	100.0%



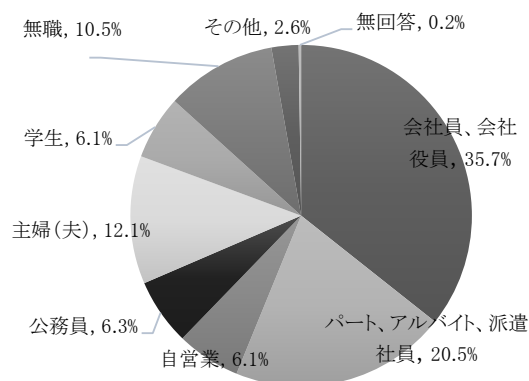
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	232	54.1%
西濃圏域	59	13.8%
中濃圏域	81	18.9%
東濃圏域	47	11.0%
飛騨圏域	9	2.1%
無回答	1	0.2%
計	429	100.0%



(4) 職業別

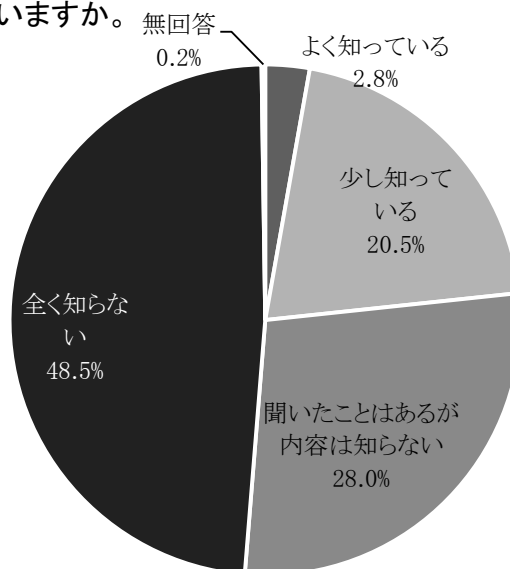
	人数	割合
会社員、会社役員	153	35.7%
パート、アルバイト、派遣社員	88	20.5%
自営業	26	6.1%
公務員	27	6.3%
主婦(夫)	52	12.1%
学生	26	6.1%
無職	45	10.5%
その他	11	2.6%
無回答	1	0.2%
計	429	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、県森林・環境税について知っていますか。

	人数	割合
よく知っている	12	2.8%
少し知っている	88	20.5%
聞いたことはあるが内容は知らない	120	28.0%
全く知らない	208	48.5%
無回答	1	0.2%
計	429	100.0%

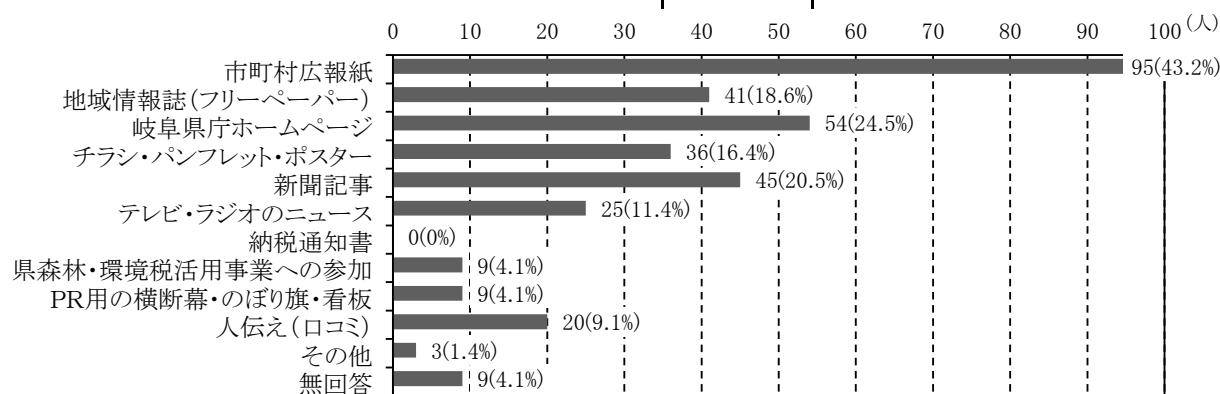


(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問2 あなたが、これまでに県森林・環境税について見たり聞いたりしたことのある媒体について、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 220 人

	回答数	割合
市町村広報紙	95	43.2%
地域情報誌(フリーペーパー)	41	18.6%
岐阜県庁ホームページ	54	24.5%
チラシ・パンフレット・ポスター	36	16.4%
新聞記事	45	20.5%
テレビ・ラジオのニュース	25	11.4%
納税通知書	0	0.0%
県森林・環境税活用事業への参加	9	4.1%
PR用の横断幕・のぼり旗・看板	9	4.1%
人伝え(口コミ)	20	9.1%
その他	3	1.4%
無回答	9	4.1%
計	346	-

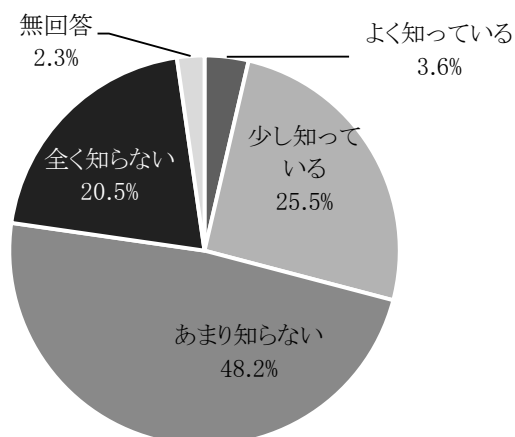


【その他】 学校、仕事

(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問3 あなたは県森林・環境税の使いみちをご存じですか。

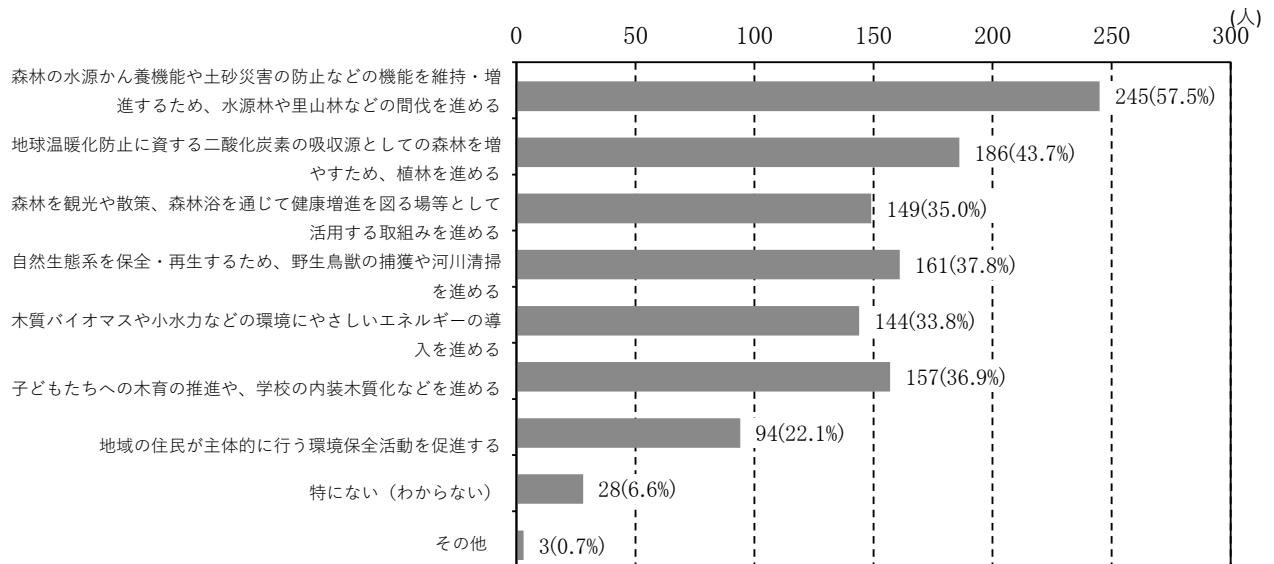
	人数	割合
よく知っている	8	3.6%
少し知っている	56	25.5%
あまり知らない	106	48.2%
全く知らない	45	20.5%
無回答	5	2.3%
計	220	100.0%



問4 県森林・環境税は、現在、森林づくりや、川づくり、水環境の保全などに関する取組みに活用されています。県森林・環境税を活用して、あなたが県で取り組んでほしいと思うものについて、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 426 人

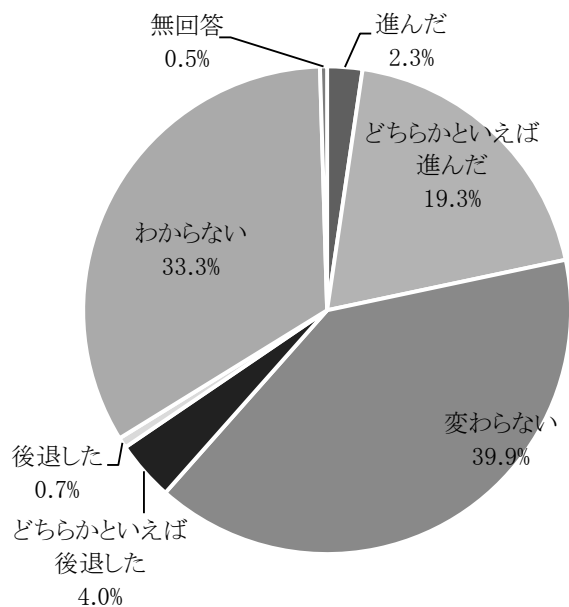
	回答数	割合
森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める	245	57.5%
地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める	186	43.7%
森林を観光や散策、森林浴を通じて健康増進を図る場等として活用する取組みを進める	149	35.0%
自然生態系を保全・再生するため、野生鳥獣の捕獲や河川清掃を進める	161	37.8%
木質バイオマスや小水力などの環境にやさしいエネルギーの導入を進める	144	33.8%
子どもたちへの木育の推進や、学校の内装木質化などを進める	157	36.9%
地域の住民が主体的に行う環境保全活動を促進する	94	22.1%
特にない(わからない)	28	6.6%
その他	3	0.7%
計	1,167	—



【その他】 水害(河川の氾濫等)や土砂崩れに対する対策、街路樹の整備 等

問5 近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に関する県の施策は進んだと感じますか。

	人数	割合
進んだ	10	2.3%
どちらかといえば進んだ	83	19.3%
変わらない	171	39.9%
どちらかといえば後退した	17	4.0%
後退した	3	0.7%
わからない	143	33.3%
無回答	2	0.5%
計	429	100.0%



問6 その他、森林や自然環境に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

【主な意見】

(広報について)

- インスタやFacebookなどSNSをもっと活用してほしい。
- もっと身近なところから、わかりやすく活動された方が、県民への認知度は上がり応援もしたくなる。
- 税金を納めて正解だったと思えたり岐阜県の自然に関心が向くように、例えば「この〇〇は県の森林環境税で整備して△△を保護しています」とか、具体的にPRしてほしい。

(問題提起)

- これからの世代に残していける環境を今からつくっていくためには、家庭・学校・企業などが自然を大切にして二酸化炭素の排出を減らしていく事が大切。
- 木育事業をよく耳にするが、地域によって温度差がある。県としてやるのなら、どの地域にも同じように取り組むべき。

(使途について)

- 災害対策についての施策を優先的に進めていただけると嬉しい。
- 岐阜の木材を使った住宅は補助を受けられたり、岐阜の木を使ったおもちゃで遊べたりする取り組みは良い。
- これからも美しい山と川を大切にしながら、観光にも活かして行ってほしい。
- 岐阜県は森林が多いので、県産材の有効活用や防災対策の一層の推進を願う。
- 希少な野生動植物等を研究する機関や保全に取り組んでいるグループに補助金を出してでも取り組みを応援すべき。

(その他)

- 森林環境税が導入されてから9年過ぎた。どこに税が使われ、どのように役立っているのかは、しかと目には見えないが、長い先を見通す必要がある。目先の事にとらわれない視点が必要な税だと思う。